

令和6年9月18日

那須烏山市議会議長 青木敏久様

総務企画常任委員会委員長 興野一美

決算審査結果報告書

本委員会に令和6年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和6年9月10日（火）及び11日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 興野一美、高木洋一、小堀道和、田島信二、高田悦男
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 高田勝、参事兼総合政策課長 小原沢一幸、まちづくり課長 大鐘智夫、参事兼総務課長 佐藤博樹、税務課長 川俣謙一、議会事務局長 菊地唯一、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和5年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果
本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。
総合政策課
 - ・ふるさと納税については、寄附獲得額は県内でも下位に位置しており、実質的な収支も赤字となっている。令和6年度に事業を移管されたまちづくり課においては、魅力的な返礼品を一層充実させるとともに、本市の魅力をふるさと納税で発信し、更なる寄附額の拡大に向け努力されたい。

- ・第3次総合計画の適切な進捗管理のため、各課に執行計画調書の作成を依頼し、進捗ヒアリングを年3回実施している。内部のヒアリングに留めず、例えば常任委員会委員も同席させ第三者の意見と視点を取り入れるなど、進捗管理方法を見直されたい。
- ・庁舎整備については、市庁舎整備検討委員会の答申ののち、可能な限り広範な市民の意見を汲み上げ、中長期的将来を見据えた「まちづくりのランドデザイン」を速やかに策定し、公表されたい。

まちづくり課

- ・JR烏山線について、これまで利用者が減少傾向にあったが、令和5年度の平均通過人員が7年ぶりに増加に転じたことは評価できる。大切な地域資源であるJR烏山線を次世代に引き継ぐためにも、さらなる利用向上に向けた取り組みを図られたい。
- ・市営バスは、乗車人員、使用料収入ともに伸び悩み、厳しい運営状況が続いている。利用動向に見合った運行ダイヤ及び路線の見直し等、持続可能な公共交通の構築に向け、共同運行している市町と検討されたい。

総務課

- ・地域経済の振興と地元中小業者育成の観点から、地元業者で対応可能な事業については「条件付き一般競争入札」を採用するなど、入札の透明性や公正性に配慮しつつ、地元業者の育成にもつながるような入札制度となるよう努められたい。
- ・防災行政無線は、災害発生時における伝達ツールとして非常に有効である。すでに整備済である先進地事例等を研究し、本市に最適で最も効果的な防災行政無線システム整備に向け検討を進められたい。
- ・境財産区については、審議・決定機関が境財産区議会から境財産区管理会へ移行された。山林資源については必要な森林整備を行い、効果的な維持管理の状況などを十分考慮しながら、境地区の森林有効活用に一層寄与できるよう適切に管理されたい。

税務課

- ・大口滞納者の換価処分、不能欠損処分による徴収率の増は評価できる。市税は歳入の主たるものの1つであるため、納期内納付に有効な口座振替の勧奨や、キャッシュレス納付の促進を図り、今後も収納率の向上、収入未済額の減に努められたい。
- ・固定資産税の課税客体把握のための航空写真撮影業務を3年ごとに委託している。近隣の市町と共同で実施するなど、現在よりも安価で精度の高い方法を検討されたい。

議会事務局

- ・タブレット機器が導入され、本会議においても完全ペーパーレスとなった。紙資料での閲覧に近づけるよう、また、閲覧にあたって不具合等がないよう努められたい。併せて、タブレット導入にあたってのメリットデメリット、費用対効果を検証されたい。